

おおぐち —ふれあいネットワーク—

社協だより

7月

2011
No. 75

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

〒480-0126

大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター2F

TEL (0587)94-0060 FAX 94-0059

IPhone 95-7202

E-mail:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp http://www.oguchi-shakyo.or.jp

大口町社会福祉協議会の会員加入にご協力をお願いします

町民の皆様、平素は本会諸事業に対し深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」の影響がまだまだ続く状況ではありますが、まずもって被災された方々に深くお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

このような状況下ではございますが、本会は、本年度も「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、高齢者福祉、心身障がい児者福祉、母子・父子福祉、ボランティア育成などに取り組んでおり、これら諸事業の充実には町民の皆様のより温かいご支援が不可欠であります。

平成23年度会費(一般会員・賛助会員・法人会員)の納入は、また、未加入の方等におかれましても、各行政区の区長さんを通じて、7月から8月にかけてお願いしてまいります。

昨年度ご加入の方は本年度も引き続きご協力をお願いします。昨年度未加入の方、さらには新規加入の方におかれましても、本会の事業趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

会長 舟橋宣成

平成22年度の会員加入実績

種別	加入数	会費額
一般会員・賛助会員	4,777件	2,448,000円
法人会員	67件	546,000円
その他(個人・職域)		7,000円
合計		3,001,000円

目次(内容)

平成23年度社会福祉協議会の会費について	1
平成23年度事業方針・事業計画、役員・評議員紹介	2~5
平成23年度予算のあらまし、善意だより	6
大口子育て情報ぎゅっと	7
ボランティア情報局	8~9
介護豆知識	10
東日本大震災義援金と被災者支援の貸付案内	11
社協トピックス・社協伝言板	12

東日本大震災
義援金募集中



～がんばろう日本・がんばろう東北～

平成23年度事業方針

地域住民同士の関係が希薄になるなか、地域社会のなかでの孤立が目立つようになり、住民による支え合い、見守り等の地域福祉活動への注目や期待が高まってきています。このように地域福祉が本格化する時代のなかにあつて、その推進の中核である社会福祉協議会の組織・活動のあり方が問われています。

また、社会的問題にもなっている「高齢者の消費者被害」についても、高齢者を標的にした商品は一方向に減らないばかりか手口も巧妙化し、本人の意思能力の有無に関わらず被害に遭われる方が増えています。これらの被害に対し、気軽に立寄れる相談場所や迅速且つ適切な対応が求められています。

このことから、大口町社会福祉協議会では、地域課題に応じたニーズを見極め、行政や専門職の方を始め福祉関係者、地縁組織等と協働して『あんしんして いきいきと ちいきで ふつうに くらせ る しゅかい』あ・い・ち・ふ・く・しの実現を目指し、以下の諸事業を推進して参ります。

平成23年度

大口町社会福祉協議会事業計画

1 社協組織の充実と会員の拡大

「地域福祉」とは、高齢になっても障がいをもつてもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていくことです。

この地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会にとって、事業推進においての自主財源確保は大変重要な役割を占めています。

- (1) 理事会、評議員会を開催し社協組織での情報の共有を図り、社協組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めます。

- (2) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員の確保と拡大を推進し会費の増収に努めます。

2 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して

て社協情報を発信していきます。

- (1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「町広報」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信していきます。

- (2) ホームページで社協事業を公表し、事業の利用及び参加・協力を働きかけていきます。

- (3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから情報発信していきます。

- (4) 大口町ふれあいまつりで「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めます。

3 ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等他の機関との連携を図れるようコーディネートしていきます。

(1) ボランティアサークルの開放を行い、広く町民の方々に活動を周知しボランティア拡大に努めます。

(2) 各種養成講座を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図ります。

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、近隣市町の情報収集と共有を図りボランティア活動の拡充に努めます。

(4) 「社協だより」に「ボランティア情報局」を掲載し、情報を発信します。

(5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成します。

(6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての取組みを支援します。

(7) ボランティア保険の加入及び事故時等の事務手続きを行います。

(8) ボランティア派遣を行います。

4 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみながら、福祉の課題に気づき、地域社会とのかかわり・交流の中から、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進していきます。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施します。

(2) 夏休みに親子福祉教室を開催します。

(3) 子育て支援サークルの活動を支援します。

(4) おもちゃ病院「おおぐち」の活動を支援します。

(5) 視覚障がいのある子育て中の保護者に対し、検診等の情報を点訳・音訳し、これらの情報提供を行います。

(6) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施します。

5 高齢者福祉

(7) 赤ちゃん（満1歳未満）を対象に、親子のきずなをより深いものとし、赤ちゃんの健やかな成長を願い絵本をプレゼントする事業を実施します。（保健師訪問時に贈呈します）

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開していきます。さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めていきます。

(1) 民生委員児童委員、ボランティアの協力で80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施します。

(2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈ります。

(3) 介護者向け情報冊子「介護豆知識」を発行し、対象世帯に配布します。

(4) 小地域を拠点とする地域サロン活動を訪問し、地域課題に対しての話し合いの場を設け、解決方法を検討していきます。

(5) 弁護士による相談日を月1回設けます。

(6) 認知症高齢者へのサポート事業を検討し計画化していきます。

(7) 大口町高齢者軽度生活支援事業（ホームヘルパー）を受託・実施します。

(8) 大口町生きがい活動支援通所事業（アイサービス）を受託・実施します。

6 心身障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていこうことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めていきます。

(1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「障がい者スポーツ大会」を開催します。

(2) 町在住の重度障がいの方に年1回助成事業を行います。

(3) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供します。

(4) 大口おもちゃ図書館「そくら」の活動を支援します。

(5) 障がい者能力活用支援事業を実施します。

(6) 弁護士による相談日を月1回設けます。

(7) 大口町障害者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託・実施します。

7 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進していきます。

(1) ひとり親家庭夏休み日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供する。

(2) 母子家庭等に対する就業支援と

して「就業相談日」を月1回設けます。

(3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めます。

(4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈ります。

(5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援します。

8 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図ります。支援団体は9団体です。

(1) 身体障害者福祉協会

(2) 心身障害児(者)親の会

(3) 更生保護女性会

(4) 遺族会

(5) 母子寡婦福祉会

(6) 保護司会

(7) しらゆり会大口支部

(8) 尾北地域精神障害者家族会

(9) 尾北地区聴覚障害者福祉協会

9 共同募金事業

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義につい

ての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めていきます。

(1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定しその推進を図ります。

(2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図ります。

(3) 共同募金配分金事業を広くPRをし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めます。

(4) 町内店舗、町民体育祭において協力団体による街頭募金を実施します。

(5) 災害復興義援金の窓口を設置し募集を行います。

10 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行います。また、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行います。

(1) 生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会へ申請します。

- *総合支援資金
- *教育支援資金
- *不動産担保型生活資金
- *福祉資金

(2) 県くらし資金(愛知県社会福祉協議会)

(3) 町くらし資金(大口町社会福祉協議会)

(4) 緊急一時貸付等

11 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みことや地域における問題解決のための相談を行います。

(1) 心配ごと相談所

第1水曜日・第3水曜日は午前10時から午後3時30分

第2水曜日は午後1時30分から午後3時30分

県母子自立支援員、県女性相談員、知的障害者相談員、身体障害者相談員

第4水曜日は午後1時30分から4時30分
高齢者や障がい者についての弁護士による法律相談

(2) 総合福祉相談窓口常設

(3) 日常生活自立支援事業相談窓口常設

12 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出を行います。

目的

地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援 福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子
- (2) 松葉杖
- (3) 福祉車両
- (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機
- (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)

13 在宅福祉サービス事業所の経営

介護保険法や障害者自立支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅福祉を支えています。

(1) 大口社協居宅介護支援事業所(介護・介護予防)

(2) 大口社協訪問介護事業所(介護・介護予防・障害者自立支援・独自委託事業)

(3) 大口社協デイサービスセンター(介護・介護予防・独自委託事業)

(4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めます。

(5) 介護職員への研修会や勉強会を開催し、スキルアップやサービスの質の向上に努めます。

14 福祉関連事業

(1) 丹羽郡ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し、高齢者、障がい者、子どもの交流を図り「ささえあい」のこころを育みます。

(2) 福祉関係者を一同に会した「大口町福祉のつどい」を開催し、福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催します。

(3) 点字投票制度に協力します。

(4) その他社会福祉事業に必要な事業を推進します。

理事・監事・評議員の紹介

任期満了に伴い、左記の方々が就任されました。会長・副会長については5月27日の理事会において重任されました。

会長 舟橋 宣成
副会長 水野 清胤

理事 (15名)

舟橋宣成 (民生委員・児童委員)
社本良子 (民生委員・児童委員)
宮地弘信 (団体代表)
渡辺一己 (団体代表)
酒井見義 (団体代表)
安藤 桂 (福祉関係団体)
水野清胤 (福祉関係団体)
廣瀬艶男 (福祉関係団体)
楠 靖男 (福祉関係団体)
加藤英也 (福祉関係団体)
東 謙次 (福祉関係団体)
三浦京子 (福祉関係団体)
長屋孝成 (学識経験者)
前田守文 (学識経験者)
田中義郎 (学識経験者)

評議員 (10名)

また、一部の評議員の退任に伴い、5月17日の理事会で左記の方々が選任されました。

佐竹重夫 (秋田区)
土田康雄 (豊田区)
舟橋孝昇 (外坪区)
大竹伸一 (河北区)
伊藤幸治 (余野区)
奥村勝利 (上小口区)
三輪淳二 (中小口区)
井戸雅晴 (下小口区)
古川建治 (さつきヶ丘区)
宮田順子 (子ども会代表)

監事 (2名)

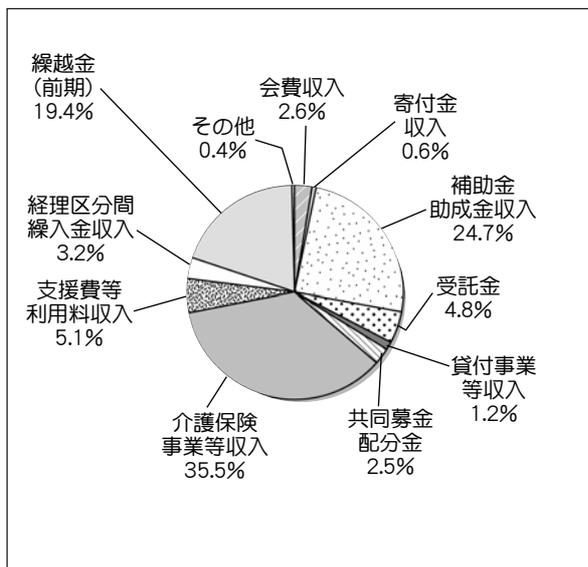
服部光延 (知識経験者)
福富弘之 (知識経験者)

平成23年度大口町社会福祉協議会予算のあらまし 予算総額…124,153,000円

【収入の部】

(単位：円)

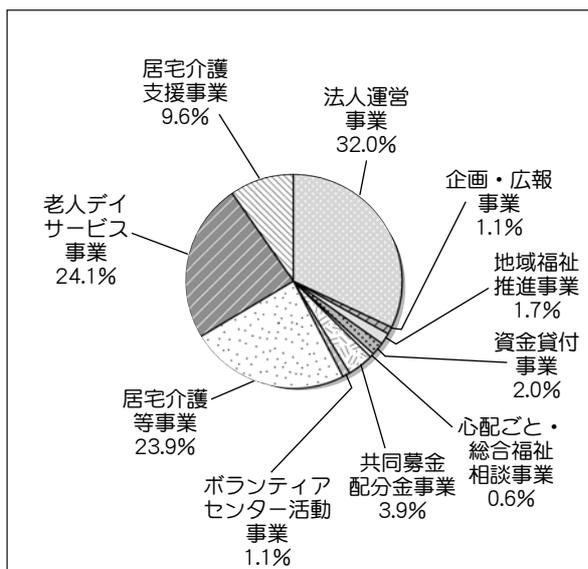
会費収入	3,180,000
寄付金収入	800,000
補助金/助成金収入	30,642,000
受託金	6,011,000
貸付事業等収入	1,459,000
共同募金配分金	3,120,000
介護保険事業等収入	44,044,000
支援費等利用料収入	6,339,000
経理区分間繰入金収入	4,003,000
繰越金(前期)	24,113,000
その他	442,000
収入合計	124,153,000



【支出の部】

(単位：円)

法人運営事業	39,869,000
企画・広報事業	1,407,000
地域福祉推進事業	2,080,000
資金貸付事業	2,481,000
心配ごと・総合福祉相談事業	700,000
共同募金配分金事業	4,887,000
ボランティアセンター活動事業	1,306,000
居宅介護等事業	29,612,000
老人デイサービス事業	29,885,000
居宅介護支援事業	11,926,000
支出合計	124,153,000



寄付がより

「寄付ありがとう」をこまめに

社会福祉に役立ててほしいと、あなたがい寄付が寄せられました。厚く御礼申し上げます。

なお、これらの善意は大口町の社会福祉のために大切にに使わせていただきます。

(1月14日～6月2日お取り扱い分)

寄付者氏名(順不同) 内容

■株式会社 愛知銀行

愛銀ライフサークル様

金100,000円

■ユニー株式会社 営業統括本部

小さな善意で大きな愛の輪 運動推進本部様

金100,622円

■大口町建設協力会様

金100,000円

■江南モラロジー女性部様

金5,000円

■ダンスサークル大口ふれ愛様

金50,000円



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人
「まみーぽけっと」

【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>

夏といえばお祭りですね。大口町では毎年「やろ舞い大祭」で盛り上がります。今年は特に10回目ということでさらに盛り上がること間違いなしです。今年から見る側からステージで踊る側になってみませんか？

近隣には団体がいくつかありますが、親子やお孫さんと一緒に参加できるところを紹介します。

第10回やろ舞い大祭

9月10日(土) 12:00~20:00

雨天予備日 9月11日(日)

1 大口町民会館第1 駐車場で

“100年続くまつり”を目指して、
皆さんの参加をお待ちしています!!

菜花(さいか)

場所 主に余野学習等共同利用施設

日時 毎週木曜日 19:00~21:00

対象 年齢制限なし 現在6割は子ども

参加費 2,000円/1か月

連絡先 090-5606-6932 (水野)

活動内容 鳴子踊りチームです。年齢制限がないので、ご家族での参加もできます。練習はしっかり!本番は楽しく!みんなで1つのものを作る楽しさを、体験していただけたと思います。

菜花ブログ <http://ameblo.jp/saika-ooguchi/>

つほみ

場所 余野学習等共同利用施設 2階

日時 毎週金曜日 19:00~21:00

対象 園児以上の子どもと親

子どものみ、大人のみでも可

参加費 5,000円/年会費

2,000円/1か月

連絡先 森本 090-4401-3563

活動内容

イベントに向けての練習を中心に活動しています。親子で楽しい思い出作りをしましょう。

呑(どん)

場所 余野学習等共同利用施設 2階

日時 毎週水曜日(8月まで)

対象 年齢制限なし

連絡先 石津 090-9919-1660

活動内容 去年立ち上げたばかりのチームです。今年はマイケル・ジャクソンの「Beat it」を踊ります。

さくらメイト(さくら連)鳴子踊り

場所 ほほえみプラザ(2階多目的室)

日時 毎週土曜日 19:30~21:00

対象 3歳~70歳

参加費 前期3,000円・後期3,000円

連絡先 稲垣 0587-95-5954

090-8134-1827

活動内容

町内及び、他市町イベント参加犬山踊祭、扶桑大口町内やろ舞大祭等、一緒に参加しませんか?待ってます!

まみーぽけっとからのお知らせ

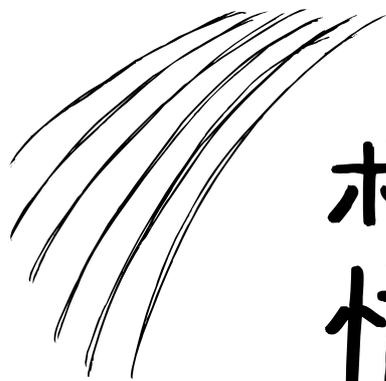
★毎週木曜日、南児童センターで「ふらっとルーム」を開催中!手作りランチ・デコレーション・お顔の大掃除、カイロプラクティックなど週代わりで開催しています。詳しくはHPで。

★秋には妊婦さん向けの「布絵本作り講座」を開催予定です。お楽しみに!

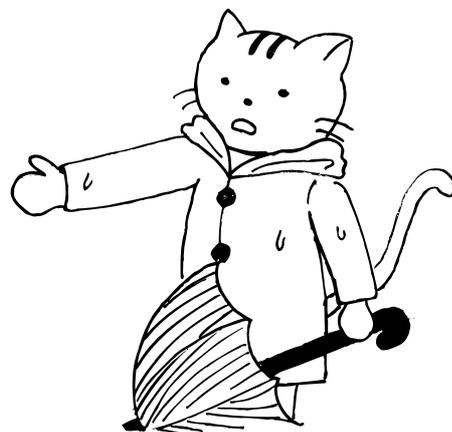
★今年の冊子「ぎゅっと」ができました!

福祉こども課にあります。





ボランティア 情報局

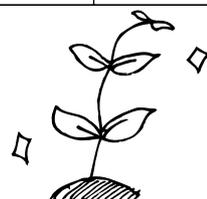


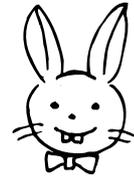
ボランティアサークル開放



今年の夏もボランティア開放をおこないます。
 気になるボランティアはありませんか？申し込みは必要ありません。
 開催日にサークルへ直接ご参加ください。きっと新しい出会いがあるはずですよ。

団体名	開催日	開催時間	場所	P	R	特記事項
要約筆記 スマイル大口	7/25 (月) 8/8 (月)	10:00 ～ 12:00	健康文化センター 2階ボランティア室			参加年齢は小学校5年生以上。大人の方も大歓迎です。
高齢者疑似体験 うさぎとかめ	7/27 (水)	9:00 ～ 11:30	健康文化センター 2階ボランティア室			思いやりの気持ち、どんなことでもお手伝いできるか、高齢者疑似体験の装具を付けて体験していただきます。
ガイド ボランティア あい あい	7/29 (金)	9:00 ～ 11:30	健康文化センター 2階ボランティア室			子ども達一人ひとりに送付(アイマスク・白杖等)を使用して視覚障がい者の状況を体験し、生活での苦勞する点等を話し合います。
災害救援 ボランティア	8/20 (土)	10:00 ～ 12:00	中央公民館 調理室 (旧福祉会館2階)			大人だけでなく、小中学生の参加も歓迎しています。
おもちゃ病院 おおぐち	7/9 (土) 8/13 (土)	10:00 ～ 12:00	健康文化センター 2階まかせて広場			大切にしていた“おもちゃ”…壊れたから捨てるなんてもったいないよ。病院スタッフと一緒に修理してみませんか？ 経験は問いません。直してみたい“おもちゃ”がありましたらお持ちください。一緒に修理してみましょう。





団体名	開催日	開催時間	場所	P	R	特記事項
おもちゃ図書館 さくら	7/9 (土) 7/15 (金) 8/18 (木)	10:00 ~ 15:00	健康文化センター2階 おもちゃ図書館内	中学生以上、高齢者まで、男女どなたでも可能です。これからお母さんになる方もおいでください。		パネルシアターの上演、手作りのおもちゃを作りたい方、おもちゃコンサルタント資格を取得したい方は指導します。
広場もくせい	7/27 (水) 8/10 (水) 8/24 (水)	13:30 ~ 14:30	御桜乃里 4階洗濯室	第2と第4の水曜日にクリーニングされてきたオムツをたたむ作業をしています。		小中学生のお母さま方の中で長く続けられる方には是非入っていただきたく思います。
手話サークル コスモス	8/4 (木)	10:00 ~ 12:00	健康文化センター 2階ボランティア室	あいさつや指文字、日常生活で使う簡単な手話を覚え、耳の間こえない人と遊んだり、お話ししたりしてみませんか。		どなたでもOKです。
手話サークル ほほえみ	毎週木曜 (8/11 は休み)	19:00 ~ 20:45	健康文化センター 2階ボランティア室	開催日は特別設けませんので、木曜日におこしください。あいさつや指文字など日常生活で使う手話単語から体験してみてください。初心者の方もいますので気楽においで下さい。		中学生以下の方は、保護者と一緒に参加願います。送迎していただければお子様だけでも可能です。



ご不明な点は、社会福祉協議会内
ボランティアセンターへおたずね下さい。

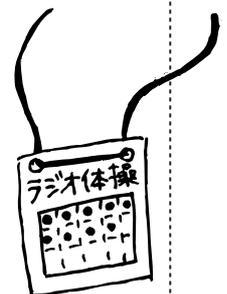
TEL 0587-94-0060

FAX 0587-94-0059

■編集後記■ 取材・作成 / 編集ボランティア oz

もうすぐ夏休みですね。夏休みの朝といえばラジオ体操。低学年の頃は、スタンプを押してもらうのが楽しみで張り切って出かけたものでした。そのラジオ体操を先日久しぶりにやってみました。たかがラジオ体操と軽い気持ちでいざやってみると筋肉痛まで起きる有様。日頃の運動不足を認識して毎日続けているうちにだんだんと筋肉痛もなくなり、嬉しいことに体脂肪も減ってきました。たった数分の体操でも「継続は力なり」を実感しました。何ごととも続けることが大事なんですね。

ボランティア開放も今年で9年目、多くの参加者が気軽にボランティアへ参加するきっかけづくりができたのではないかと思います。今年もみなさんのご参加をお待ちしています。





日差しも強くなり気温も上昇、暑い夏が近づいてきました。熱中症や夏バテに十分に気をつけましょう。特に高齢の方は体温の調節機能が低下していますから、熱中症になりやすく、屋内でも熱中症にかかる例は少なくありません。また、水分不足は血液が濃くなり、脳梗塞などをおこしやすくなり大変危険です。こまめに水分補給をして脱水状態に注意しましょう。しかし、暑いからと言ってビールで水分補給すると、利尿作用があるため、健康な大人でも脱水症状になることがあります。どの渴きを感じる前に、こまめに水分を取りましょう。今回のテーマは「熱中症・夏バテ対策」です。

熱中症とは…気温が高かったり、体の中でたくさんの熱が発生するなど、体の中と外の「暑さ」によって起きる、様々な体調不良の状態です。

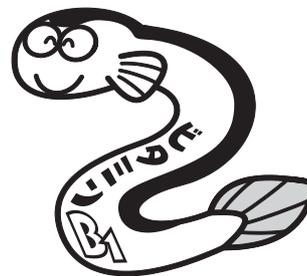


熱中症の症状への対応は…少しでも「熱中症かな?」と思ったら、風通しの良い日陰や冷房の効いた涼しい場所等で体を休めましょう。また、衣類を緩めて楽にし、扇風機やうちわで風を送っても効果的です。



熱中症の予防法…炎天下や暑い場所での長時間の作業やスポーツは避けましょう。外出時は、帽子をかぶったり日傘をさす等直接日光にあたらぬようにします。水分をこまめに取り、汗をかいたら塩分も補給、体調が悪い時は無理をせずに休憩しましょう。

夏バテ予防は食事で…「だるい・疲れる・食欲不振」の夏バテは食が細くなり栄養が取れず、体力が落ちて悪循環を引き起こします。バランスの取れた食事に気をつけて、1日3食しっかり摂り「量より質」の食事を心掛けましょう。



疲労回復にビタミンB1…豚肉、レバー、うなぎなど
基礎体力の維持には…肉、魚、卵、大豆製品など
食欲増進には薬味・香辛料…とうがらし、わさび、カレー粉、しそ、みょうが、ねぎなど

酸味のクエン酸で消化をアツフ…酢、梅干、レモンなど



清涼飲料水や果物の取りすぎに注意…糖分が多く血糖値の上昇につながり、食欲減退を招きます。さらに、糖分の代謝のためにビタミンB1が消費されますから、ビタミンB1不足になりやすく、疲れを招きます。

日頃から生活のリズムを整え睡眠をきちんと取り、睡眠不足の時は昼寝で補うなどしましょう。
熱中症・夏バテにならないよう注意して、今年の夏を乗り切りましょう。

東日本大震災義援金について

～大口町共同募金委員会からの報告～

この度の東日本大震災では、みなさまから多数の義援金が寄せられています。本会に寄せられた義援金は、平成23年3月31日までの受領分10,938,922円を平成23年4月6日(水)に中央共同募金会へ送金させていただきました。なお、中央共同募金会から被災地への送金内訳は下記のとおりです。

平成23年4月15日(金)送金内訳	(1) 宮城県 :	15,611,680,000円
	(2) 新潟県 :	16,710,000円
	(3) 埼玉県 :	10,320,000円

平成23年4月19日(火)送金内訳	(1) 北海道 :	350,000円
	(2) 青森県 :	271,900,000円
	(3) 岩手県 :	10,152,550,000円

ご支援いただいたみなさま、誠にありがとうございます。
今後も被災地（者）への継続的なご支援をお願い申し上げます。

東日本大震災の被災者支援のための 愛知県災害被災者支援資金貸付事業

愛知県では東日本大震災で被災され、本県へ避難された方のうち、当分の間本県に居住する方を対象に生活福祉資金（緊急小口資金：限度額10万円（条件により限度額20万円））の貸付に上乗せる形で、最大30万円まで貸付を行います。

【貸付金の対象者】

東日本大震災で被災し、愛知県に避難された方のうち当分の間、愛知県に居住される方。

【貸付限度額】

愛知県での当面の生活費…最大50万円

愛知県災害被災者支援資金（上限30万円）
生活福祉資金（上限20万円）

【貸付要件など】

- ・据置措置：貸付の日から1年以内
- ・償還期間：措置期間経過後2年以内
- ・貸付利率：無利子
- ・連帯保証人：不要
- ・貸付条件：生活福祉資金（緊急小口資金）を借りの場合に上乗せして貸付

【貸付にあたっての留意事項】

- ・お申し込みの際は「り災証明書」「被災証明書」「運転免許証」「世帯の構成がわかる資料（住民票の写し）」など、本人確認ができるものをできる限り持参してください。

【問い合わせ先】◇大口町社会福祉協議会：電話 0587-94-0060 FAX 0587-94-0059

平成23年度心身障害児(者)親の会の総会が開催されました。

平成23年度の心身障害児(者)親の会の総会が5月10日に開催されました。新役員の様子は左記のとおりです。

- 【会 長】 河原 文子
- 【副会長兼書記】 伊藤 敦子
- 【会 計】 大島 みどり
- 【監 事】 高田 典子

大口町身体障害者福祉協会からのお知らせ

大口町身体障害者福祉協会の総代会が平成23年5月9日に開催されました。新役員の様子は左記のとおりです。

- 【会 長】 佐藤 堅三
- 【副会長】 石黒 文男
- 【副会長】 山田 和子
- 【会 計】 國府谷 忠彦
- 【会計補佐】 長谷川 千乃
- 【顧問】 廣瀬 艶男

ひとり親家庭 夏休み日帰り旅行

夏休みの一日を親子で楽しんでいただくこと、日帰り旅行を計画いたしました。

ひとり親家庭のみなさん！
今年の夏はユニバーサルで夏休みを満喫しませんか？

日 時：8月6日(土)

6時45分出発

集合場所：大口町役場 南側駐車場
行き先：ユニバーサルスタジオ・シヤパン(大阪市)

参加費：大人(中学生以上) 4000円

小人(四歳以上小学生) 2000円

参加費に含まれるもの

往復バス代、USJスタジオパス
旅行傷害保険

要件：町内在住で子どもさんの年齢は十八歳以下

定員：45名(定員になり次第締め切ります)

申込：7月7日(木)午前9時から
※来所か電話等でお申込ください

東日本大震災復興支援関係

被災地でボランティア活動しました

東日本大震災の被災者のために本会のボランティア団体「災害救援ボランティア」から2名を平成23年4月25日から28日まで現地へ派遣しました。今回のボランティア活動は、愛知県社会福祉協議会の主催で行われ、一般的なボランティアではなく「災害被災地での現場経験があり・活動的な人材」を対象としているものです。

派遣された2名は、壊滅的な被害を受けた岩手県・大船渡市、陸前高田市、大槌町で復旧活動支援等を行いました。バスで片道14時間かけて現地に入り、被災家屋の片付け、清掃、家具の運搬、物資の運搬仕方、避難所や公的施設等の清掃活動、河川敷や側溝等の清掃、個人写真等の修復を行いました。

大口絆つなぐネットの活動リポート

本会では平成23年6月1日から1か月間、岩手県遠野市に東日本大震災活動拠点を設け、本会職員1名、大口町職員2名が常駐して被災地の復興支援に取り組みました。5月31日の出発式で、森大口町長・舟橋社協会長の挨拶後にワゴン車で第1便は出発しました。この第1便を皮切りに、多数のボランティアのみなさんが被災地へ赴き、復興支援活



動に従事しました。また、本活動に際し寄付金を左記のみなさまからいただきました。

- 丹羽ライオンズクラブ 様 金1,000,000円
 - もくせいの会チャリティー歌謡会様 金96,265円
 - 丸周建設株式会社 様 金500,000円
 - 山幸建設株式会社 様 金300,000円
 - 鈴与グループ 様 金100,000円
 - 民生委員・児童委員 様 金30,000円
 - 大口町歌謡同好会 様 金33,500円
 - 大口町部課長会 様 金50,000円
- このほか、多数のみなさまから物品の提供いただきました。重ねて御礼申し上げます。